

# 令和6年度 学校評価アンケート集計結果

千葉市立越智小学校

学校教育目標 「自ら考え 自ら学ぶ そして実践する子どもの育成」

～わくわく登校 いきいき活動 にこにこ下校～

学校評価アンケートの集計結果  
 集計方法は、  
 そう思う→4点 少し思う→3点 あまり思わない→2点 思わない→1点  
 として、それぞれの人数を乗じて合計を算出し、小数第1位までの平均値で記載。  
 ※児童には自分自身の姿について、保護者にはお子さんの姿について、  
 教職員には自分の取り組みについてそれぞれ評価をお願いしてあります。  
 令和4年度までは教職員も、子どもの姿を評価してアンケートに答えていたので、  
 平均値の単純比較はできません。

## 【1】児童アンケート

質問内容		R4	R5	R6	
お・・・「思いやりの心を持ち」の育成					
1	学校に行くのが楽しい。	3.5	3.5	3.6	↑
2	家族や地域の人等に、自分から挨拶ができる。	3.4	3.5	3.4	
3	友達に優しくしている。	3.5	3.7	3.6	↓
ち・・・「知恵を出し合い」の育成					
4	学習したことは、大体わかる。	3.2	3.3	3.3	
5	家では、宿題と次の日の準備を、忘れずにしている。	3.3	3.4	3.6	↑
の・・・「伸びようと」の育成					
6	外遊びなど、体力づくりをしている。	3.4	3.4	3.4	
7	食後は、必ず歯磨きをしている。	3.4	3.5	3.5	
こ・・・「根気よくがんばる子」					
8	掃除を頑張っている。	3.6	3.7	3.7	
9	自分のやるべきことは、最後まできちんとできる。	3.5	3.5	3.6	

※R4後期比0.1ポイント以上上がった項目 ↑ 0.1ポイント以上下がった項目は ↓

※小数点第2位を四捨五入しているため、3.2と3.3でも0.1ポイントの差がない場合があります。

※ 3.5 は3.5ポイント以上。

## 【考察】

全ての質問項目の平均点が3.3ポイント以上であり、大変良好な数値となった。3.5ポイント以上の項目が9項目中6項目であることから、子どもたちは前向きに頑張って取り組んでいると言えます。

特に、「5 宿題と次の日の準備」については、数値の上昇が見られました。行うことの価値を感じられるように、今後も継続して励ましていきます。

「8 掃除」は高い値を維持しています。本校は一人当たりの場所が広いのですが、子どもたちは、きれいにすると気持ちがいいなと感じて取り組んでいるようです。

「4 学習内容の理解」については、子供たちが「できた」「わかった」と思える授業や、学習内容の定着を図る取組が必要不可欠ですので、引き続き推進していきます。

## 【2】保護者アンケート

アンケート回収率71.7% (66/92人)

質問内容		R4	R5	R6
お・・・「思いやりの心を持ち」の育成				
1	お子さんは、楽しく学校に行っている。	3.7	3.6	3.6
2	お子さんは、家族や地域の人等に自分から挨拶ができる。	3.3	3.3	3.2
3	お子さんは、友達に優しく接することができる。	3.5	3.5	3.4
ち・・・「知恵を出し合い」の育成				
4	学校は、お子さんに基礎・基本の学力を定着させようと努めている。	3.2	3.4	3.4
5	お子さんには、家庭学習や学習準備の習慣が身に付いてきている。 (宿題や翌日の用具準備など)	3.1	3.0	3.1
の・・・「伸びようと」の育成				
6	お子さんは、外遊び等進んで体力づくりに取り組んでいる。	3.4	3.1	3.1
7	お子さんは、家庭で食事の後に歯磨きは欠かさずに行っている。	3.2	3.2	3.2
こ・・・「根気よくがんばる子」				
8	家族の一員として、お子さんにお手伝いや仕事をさせるようにしている。	3.1	3.3	3.5
9	お子さんは自分の仕事を、最後まで投げ出さずに取り組んでいる。	3.0	3.1	3.1
開かれた学校へ				
10	学校は、分かりやすく情報(学校だより等)を伝えている。	3.5	3.4	3.6
11	学校は、お子さんの様子を見に行く機会をつくっている。	3.4	3.4	3.5
12	学校へは、安心して通わせることができる。	3.6	3.6	3.7

## 【考察】

全ての質問項目の平均点が3.1ポイント以上でした。昨年度より0.1ポイント以上の上昇が見られた項目が12項目中5項目となりました。

「2 進んで挨拶」のポイントが低くなりました。セーフティウォッチャーさんへの挨拶も含め、越智の町全体ですてきな挨拶が広がるよう挨拶運動などの活動を実施していきます。

「8 家庭での役割分担」の項目の上昇が大きいです。家庭と学校で連携しながら、子どもたちの力を調和のとれた形で伸ばしていくことが大切です。

開かれた学校へについては、すぐーるを用いた情報発信を内容・場面に応じて行っていることが有効と考えます。今後もすぐーるの有効活用について探っていきます。「12 学校の安心度」については、高い数値です。今後も交通安全指導、防災安全指導、健康安全指導、いじめ問題への取組等学校全体で取り組んでいきます。

【3】教職員アンケート

質問内容		R4	R5	R6	
お・・・「思いやりの心を持ち」の育成					
1	子どもたちが、学校で楽しく過ごせるように努めている。	3.7	3.8	3.6	↓
2	子どもたちが、自分から挨拶できるように努めている。	3.2	3.4	3.3	↓
3	子どもたちが、友達に優しく接するところができるように努めている。	3.4	3.6	3.6	
ち・・・「知恵を出し合い」の育成					
4	子どもたちに、基礎・基本の学力を定着させようと努めている。	2.5	3.4	3.6	↑
5	子どもたちに、家庭学習の習慣が身につくように努めている。	2.8	2.8	3.0	↑
の・・・「伸びようと」の育成					
6	外遊びなど、子どもたちの体力づくりに努めている。	3.2	3.3	3.4	↑
7	子どもたちが、給食後の歯磨きを欠かさずするように努めている。	3.7	3.3	3.6	
こ・・・「根気よくがんばる子」					
8	子どもたちが、清掃にしっかり取り組めるように努めている。	3.2	3.7	3.3	↓
9	子どもたちが、やるべきことに最後まで責任をもって取り組めるように努めている。	3.3	3.7	3.1	↓

【考察】

全ての質問項目の平均点が3.0ポイント以上です。

児童、保護者とともに「2 進んで挨拶」できているという実感が低くなったため、挨拶運動などに継続的に取り組んでいく必要があります。

本校における重要課題である「学力の定着」については、職員の「4 定着させよう」という意識が高まっていることが伺えます。引き続き、児童の実態に合わせた授業改善に取り組んでいきます。

一方で、「5 家庭学習」については、保護者、教職員ともに他の項目と比べると低い平均点となっております。児童が自ら進んで家庭学習に取り組むことができるような宿題や家庭学習について検討をしていきます。ギガタブを使用する家庭学習についても効果的に行えるように、課題の内容などを校内で共有するなどしていきます。

「根気よくがんばる子」について、それぞれ0.4、0.6ポイント低下しました。児童のポイントはそれぞれ3.7、3.6と高いことから、十分に取り組んでいると考えられます。教職員が、児童の努力している点や成長したところを認め、ほめて、自信や次への意欲をもてるようにしていきます。